

# みんなの目・芽・めっ No.117

2023年/3月

発行 特定非営利活動法人住みよいあさくらをめざす風おこしの会 理事長 星野洋子 事務局 別府 ☎ 0943-72-4152

多様性を認め合う地域づくり

## 第32回 風おこしフォーラム 開催 踏み出そう一歩！

日時:2022年12月3日(日)13:30~15:30

会場:ピーポート甘木 第5学習室

第1部 プレゼンテーション

「朝倉市における男女共同参画の推進の現状とこれから」

講師:朝倉市男女共同参画センター センター長 田中美由紀さん

第2部 パネルトーク

「世代を超えて共に創ろう新たな未来」

パネリスト:平田伸子さん 朝倉市男女共同参画審議会 会長

今泉早智(さち)さん さちまる農園代表

今泉朋美(ともみ)さん

コーディネーター:師岡愛美 風おこしの会 副理事長



田中美由紀さん

コロナ禍における規制が緩和されない中、参加の呼びかけ人数に頭を悩ませながら風おこしフォーラムを開催。

第1部は「朝倉市における男女共同参画推進の現状とこれから」と題して田中あすみんセンター長から「朝倉市第4次推進計画」についてプレゼン。昭和56年朝倉町役場入庁、結婚、子育て、職場では課長、部長職をこなしてきた自らの経験も交えて解りやすく説明された。

第4次推進計画では審議会委員の比率が男女どちらか一方の委員数が40%未満にならないことが盛り込まれている。目標達成に向け、積極的に女性人材リストへの登録や推薦された際には「断らない」「一歩踏み出す勇気」で承諾したいものである。

第2部 パネルトークでは「世代を超えて共に創ろう新たな未来」をテーマに師岡がコーディネーターを務め、3人のパネリスト(朝倉市男女共同参画審議会会長 平田伸子さん、さちまる農園代表 今泉早智・朋美ご夫妻)に登壇戴いた。

平田さんは助産師会長時代、「男性の助産師は不向き、資格取得してほしくない」との意見が職域の中で強い中、異を唱え激論した経験を語られた。

今泉夫妻からは「二人とも非農家育ち。農業に関心があり朝農跡地のアグリガーデンスクールで学び結婚。蜷城で民家と農地を借り受け、有機野菜を栽培している。命や健康にとって食は大事。子どもたちのためにも夢を持って取り組んでいきたい」早智さんからは、農業と二人の子育て、家庭内での役割について「妻は何を栽培するか、出荷販売などについて考えることが好きだし、企画力と行動力がある。自分は子どもも好きなので家事育児は其々自然体でやれる方がやっている」と最後に締めくくられた。早智さん(夫)の最後の言葉は半世紀ほど前の自分たちの時代とは明らかに異なり、性別役割意識を全く感じさせない。参加した誰もがお二人の将来に心からのエールを送りたいフォーラムとなった。(師岡愛美)



第2部 パネルトークの登壇者の方々

## フォーラム終了後、参加者のみなさまにアンケート(感想)をいただきました。

### プレゼンテーションについて

- ・第4次朝倉市男女共同参画推進計画の内容が知られて良い機会になりました。
- ・朝倉市の男女共同参画推進の現状を分かりやすく説明され理解できた。

### パネルトークについて

- ・平田伸子さんの助産師法の問題は、今ひとつ問題のポイントは理解されにくかったと思います。自分なりに調べて考えてみたいと思います。
- ・さちまる農園さんの若いカップルの話は微笑ましく頑張って！と応援したくなります。
- ・若い人の意見も聞けて楽しかったです。
- ・それぞれの立場のパネラーが様々な挫折を経験しながら現在に至っていることを知り勉強になった。今泉夫妻のような若い方々がもっと増えるといいと思う。

### あなたはこれからどんな一歩を踏み出そうと思いますか？

- ・「さちまる農園」のミニトマト、人参を購入しようと思いました。応援したいです。
- ・いつまでも元気で社会参加したいと思います。おばあちゃん、おばあちゃんと言われながら孫と楽しく過ごせたら最高です。
- ・仕事から完全に離れたのを契機に、小学生の頃からのあこがれだったピアノ教室に通い始めました。
- ・自分のできることを引き続き頑張りたい。

### 企画や進行などで感じられたことがありましたら…

- ・たまには参加者にもマイクを回して参加者の意見を聞くのもいいかな！！
- ・男女共同参画をもっとのどかにほっこりできないかな～と思います。
- ・もっとたくさんの方に参加してほしい。



元気いっぱいさちまる農園のみなさん

## 【福岡県ハラスメント条例勉強会】

2023年1月22日(日)13:30~15:00 クローバープラザ西棟5階セミナールーム AB

福岡県議会議員の後藤香織さんを講師に、昨年6月に成立した「福岡県における議会関係ハラスメントを根絶するための条例」について学習会が実施された。

都道府県議会としては全国初の制定で、議員や候補者に対するハラスメントの防止を目指すものである。

パワハラやセクハラなどのハラスメントについて相談窓口を議会事務局に設け、弁護士らが相談員となり調査にあたり、必要に応じて議長より注意喚起や勧告を行う。議員だけでなく、その秘書や家族が受けたハラスメント行為や、投票への見返りを要求されるなどの「票ハラスメント」を受けた候補者や市町村議会議員からの相談にも応じ、助言なども行うというものである。2023年4月1日から施行される。

民主主義の確立のためには、性別を問わず誰もが平等に、公職に就任できることが不可欠と冒頭にうたわれている。後藤議員自身のハラスメント体験や、築上町議の自身の置かれた状況等の報告もなされたが、その立場を実証することの困難さも感じた。それでも女性の政治参画拡大となることへ期待したいと思う。(野田暁子)

## 【講師派遣研修報告】

思わぬ講演依頼にちょっとびっくり。しかし断るすべはなし。「私であれば頑張ります」まさに「馴れていませんが頑張ります」の心持ちでこれに向きあいました。

2023年2月3日(金)13:30~14:30 苅田町自主防災会役員研修会

タイトルは「コミュニティと男女共同参画～九州北部豪雨後の私たちの取り組みから～」内容は、松末コミュニティの取り組みとメッセージから始め風おこしの会の取り組み、ボランティア連絡協議会の活動(師岡)。「苅田町では今までに大規模な災害が発生しておらず、危機感を持つ必要がある。是非、実体験を踏まえた防災の取り組みの話を」という依頼で出向いたものです。

2023年2月9日(木)14:00~15:30 嘉麻市職員研修会

テーマは「男女共同参画の視点からの防災・復興」苅田町と異なり直球の男女共同参画の視点でまとめました。始めに会の取り組みのあと、次の3つに軸足を置き 1.「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～(内閣府発行＝風おこしの会の活動が掲載されている)」について 2. 男女共同参画をめぐる3つのキーワード 3. ジェンダー平等とSDGsの3点の関係を話しました。そして、ジェンダー平等は男女共同参画の精神であり、「ジェンダー平等の実現は…すべての目標とターゲットに…死活的に重要な貢献をするものである」「ジェンダーの視点をシステムティックに主流化していくことは不可欠である」(2030アジェンダ)と明記されていることを帰結に講演を終えました。(星野洋子)

## 【歴代代表と実行委員との懇談会】

2023年2月11日(土)10:00~11:30 朝倉生涯学習センター研修室

議題:「風おこしの会」の今後について

歴代代表出席者:上原幸子・井上順子・平田悌子・前田節子・中嶋玲子

欠席:上野幸子・石井千尋(事前に思いを伝えてもらっていた)

始めに歴代代表の変わらぬ熱い思いを語っていただき、議題に移る。1991年の創立以来30数年、2013年の法人格取得から10年が経過しようとしている。そして今、会員の高齢化と役員の固定化、NPO継続の是非が課題となっていた。一方、講座やフォーラムの参加者も減少してきており、加えてコロナ禍は社会の変化に大きな影響を与えている。如何ともし難いこれらの状況を受け、懇談会の開催となった次第だ。それぞれが思いの丈

を述べ、活発な議論が交わされた。思えば、法人格取得もその時代の流れからの決定であった。変化を続ける社会にあっては、私たちも常に変化を求められているのだ。(星野洋子)

## 【みらいねっとフォーラム2023報告】

2023年3月5日(日) クローバーホール

福岡県男女共同参画推進連絡会議(ふくおかみらいねっと)が主催するフォーラムが開催され、風おこしの会から3名が参加。みらいねっと紹介動画のあと、大曲副知事の挨拶。

**第1部** 基調講演、三井マリ子さん(女性政策研究家)の「ノルウェーの女たちは政治を舞台に社会を変えた」が始まった。1986年5月19日、朝日新聞「ノルウェーの新閣僚、18人中女性8人:女性40%」の記事に平等の源を探するために2年間ノルウェーへ。女性たちの抵抗の歴史をつぶさに調査、研究、「鍵はクオータ制だ」と帰国後日本の女性議員を増やす様々な運動をオーガナイズ。DVDによる講演はとても解りやすく、90分の時間は短く感じられた。紙面の都合上多くを報告できないが、我が国と余りに大きく異なる社会の在り様に嘆息しながらも、日本は今年統一地方選挙年、立候補したすべての女性の当選を願いながら、自らもしっかり活動することを決意した。

**第2部** 3団体(いづつか男女共同参画推進会議・北京 JAC ふくおか・風おこしの会)から各10分間の活動報告。当会は師岡が会の歴史、活動内容、現在抱えている課題についてDVDでコンパクトに報告。終了後複数の人から「うちの会でも同様です」との声かけがあった。(師岡愛美)

### ～風の音～

ロシアによるウクライナ侵攻から1年あまりになる。いっこうに収束に向かう気配はないが、一方的に攻め込まれ、破壊され、命を奪われているウクライナの人々のことを思うといたたまれない。荷物を引きずり泣きながら避難の列について歩く男の子をテレビで見た時は涙がとまらなかった。そしてその情景は私をたちまち国民学校3年生だった自分へと引き戻した。

昭和19年、学校が陸軍病院として使用されることになったため児童は各地域のお宮に分散していた。20年3月、大刀洗空襲に向かうおびたしい数の飛行機が轟音を響かせて上空を通過する時、私たちは壕内で友だちと体を寄せ合い、震えていた。また数日後、下校中に空襲警報が発令され、あわてて麦畑に逃げ込み、伏せたこともあった。当時父は出征しており、農作業に忙しい母と子どもたちとの暮らしは、寂しくつらいものだった。

8月15日にやっと戦争は終わった。あの青空と、時が止まったような静けさをよく覚えている。そして、ああ今日から逃げなくていいんだ、安心して暮らせるんだと本当にうれしかった。ウクライナの子どもたちに、すべての人々に、早く平穏な日が戻ることを願っている。(前田節子)

### ～編集後記～

4年に一度の統一地方選挙が始まる。しかし、政治分野における男女共同参画推進法施行後も女性議員比率はなかなか上がらない。海外では候補者男女同数の「パリテ法」や一定数を割り当てる「クオータ制」を導入し女性比率は高まっている。

16年前、女性研修の翼でノルウェー視察中「初の女性財務大臣」誕生の情報が入り拍手喝采の渦に包まれた思い出が蘇って来た。日本でもジェンダー意識は高まっているのに政治が取り残されている。

「風おこしの会」活動の中で微力ながらも何かを進めていかなければと考えている。(石井正子)

携帯やスマホからQRコードアプリで右のQRコードを読み込めば、風おこしの会のサイトへ簡単にアクセスできます。ぜひ試してみてください！



←フェイスブック  
風おこしの会 HP→

